

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技規則について

本記録会は、2012年度（財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本記録会要項及び申告せ事項よって行う。

## 2 競技場使用について

- (1) 開会式終了後のウォーミングアップは、スタンド下の雨天走路を使用する。
- (2) 競技において、裸足は一切禁止する。
- (3) 更衣室は本競技場の1階にある。3時以降は使用できません。

## 3 競技者の招集について

- (1)
  - ・メイン競技場で行われるトラック種目については、陸上競技場雨天走路北側で行います。
  - ・フィールド種目については、各競技場所で行います。
  - ・1～3年生の50m走は、バックスタンド前・北側で行います。
  - ・サブ競技場で行われる1000m走、800m走はスタート場所で行います。
- (2) 招集完了時刻は、トラック競技開始時刻15分前、フィールド競技開始時刻20分前とする。ただし、9時00分から始まる競技は、開会式終了後、ただちに招集を行う。
- (3) 競技者は招集時刻までに招集所に集合し、点呼を受け、係員の誘導に従って入場する。  
※ トラック競技とフィールド競技を兼ねて出場する者は、トラック競技を優先させること。
- (4) 競技への出場をやむを得ず棄権する時、招集時刻までに本人、もしくは関係者が、その旨を競技者係に連絡する。  
※ トラック競技は競技者係が、フィールド競技は各種目の係員が招集する。

## 4 競技運営について

- (1) レーンで行う競技種目は、1レーンから使用し、棄権者があった場合、そのレーンはあける。
- (2) 時計は、写真判定(1/100秒)とする。ただし、50mは、手動計時とする。(1/10秒)
- (3) トラック競技はタイムレースとする。
- (4) 50m、800m以上の長距離種目は、スタンディングスタート、オープンレーンとする。
- (5) フライング（不正出発）は3回で失格とする。
- (6) リレーにおいて、ダッシュライン使用は認めない。
- (7) リレー競技においては、できるだけそのチーム同一のユニフォーム（体育着）を着用する。
- (8) リレー競技のマーカーは、チームで粘着テープを用意する。また、使用したテープはそのチームで処理する。
- (9) 走高跳は同一の高さ3回以内の試技とし、正面とび（はさみとび）を有効試技とする。（脚から着地しない場合は無効試技とする）  
バーの上げ方は次の通りとする。  
(練習 100) 100 105 110 115 118 120 122 124 以下2cmずつ上げる
- (10) 走幅跳の試技は3回とし、有効試技のみ計測する。3回ともファウルの場合は、3回目を参考記録として計測する。  
立幅跳の試技は2回とし、有効試技のみ実測する。なお、立幅跳で片足踏切や予備跳躍が入った場合は無効試技とする。
- (11) ソフトボール投の試技は連続3投方式とし、有効試技の最高記録のみ計測する。3回ともファウルの場合は、3投目を参考記録として計測する。
- (12) 抗議は競技規則第147条③にのっとり、審判長に口頭で申告する。

## 5 ナンバーカードについて

800m、1000mは、腰ナンバーカードを使用する。（招集時に配布し、ゴール後回収する。）

## 6 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

## 7 表彰について

各種目の表彰は1～8位まで賞状を授与する。

## 8 その他

- (1) 記録の結果は、正面玄関付近に掲示する。
- (2) 8位入賞者以外には、レース終了後、正面スタンド下受付にて記録証を配布する。
- (3) 横断幕や幟の設置はメイン競技場の正面スタンド最上段、南北スタンド最上段のみ許可する。
- (4) 応援については、メイン競技場はスタンド、サブ競技場は指定された場所とする。
- (5) けがについては、応急処置をし、傷害保険補償の範囲内で対応する。（熱中症は適用外）